

北海道へのアクセス、札幌からの北海道内主要都市へのアクセスと月別服装アドバイス

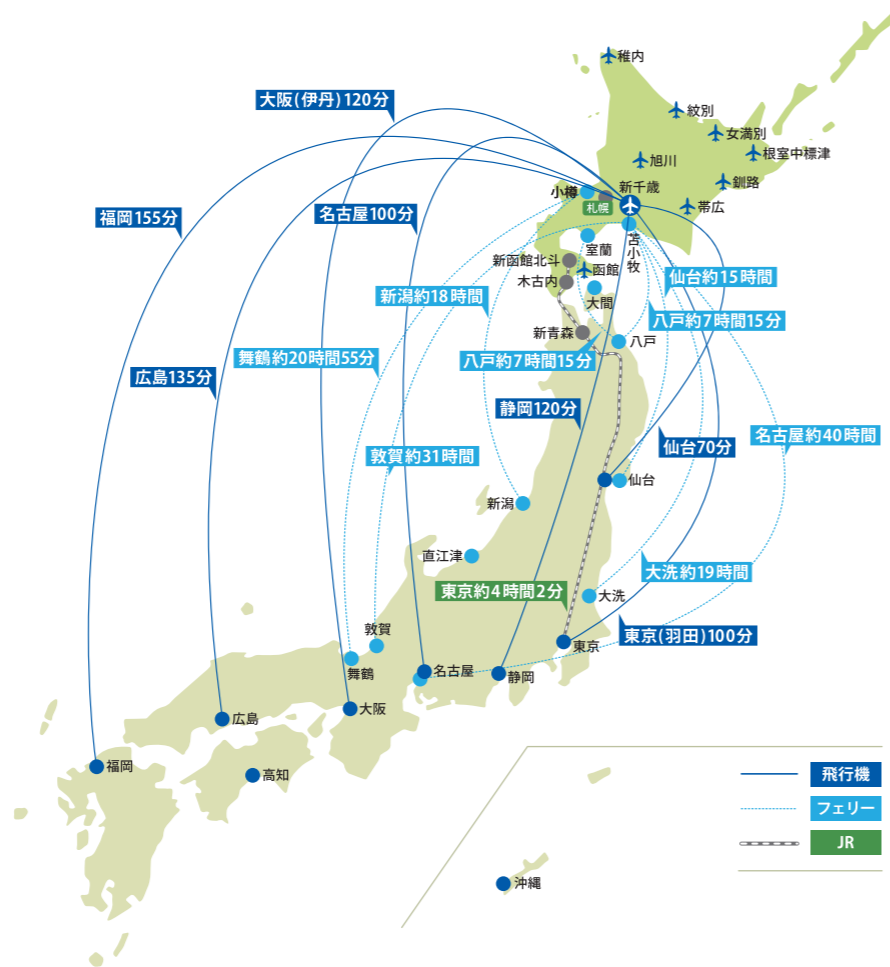


北海道 グリーンワーケーションガイド

《北海道森林活用型ワーケーションガイドブック》

服装のアドバイス (札幌市の例)

| | | |
|---|-----|--|
| 春 | 3月 | まだ雪が残るのでコートは必要です。朝夕の気温差が激しいので、脱ぎ着しやすい服装で温度調節を。シャベット状の雪なので防水加工した靴がおすすです。 |
| | 4月 | 日中の気温は上がってきますが、薄手のコートや上着など羽織るものを持っていった方がいいでしょう。朝晩はまだ冷えるので、重ね着で対応しましょう。 |
| | 5月 | 陽射しは暖かくなってきますが、風はまだ冷たいことも多い時期です。朝晩など急に寒くなるがあるので、上着は用意したほうがいいでしょう。 |
| 夏 | 6月 | 北海道らしいさわやかな気候になります。日中はシャツだけで過ごせることもありますが、朝晩は冷えることも多いので、軽く羽織るものを用意しましょう。 |
| | 7月 | 日中は本州と同じ夏服で過ごせます。夜間の外出や山や湖に行く場合は、ウィンドブレーカーなど薄手の上着を用意しておくとう安心です。 |
| | 8月 | 8月上旬までは本州と同じ夏服で大丈夫。北海道はお盆を過ぎると急に朝晩の気温が下がり始めるので、日中と夜の気温差を考えた服装を用意しましょう。 |
| 秋 | 9月 | 9月上旬は夏用の上着でも大丈夫ですが、中旬頃から朝夕が肌寒くなってきます。北海道の9月は本州の10月くらいと考え、秋用の上着を用意しましょう。 |
| | 10月 | 北海道が秋から冬に向かう時期です。朝晩の冷え込みがだんだん厳しくなってくるので、薄手のダウンジャケットや厚手のコートなどを用意しておきましょう。 |
| | 11月 | 朝夕は吐く息が白くなり、平地でも初雪が降り始める頃です。アウターは薄手のダウンや厚手のコート、インナーは重ね着で温度調整しやすくしておきましょう。 |
| 冬 | 12月 | 12月中旬から本格的に雪が積もりはじめ、下旬頃から根雪になります。厚手のコートやダウンジャケット、帽子、手袋に加え、滑り止めのある靴を選びましょう。 |
| | 1月 | 1年で一番寒い時期。ジャンパーやコートは防寒性を重視したもの、中の服は脱ぎ着しやすいものを選びましょう。マフラー、手袋、帽子などは防寒に効果的です。 |
| | 2月 | 底冷えがする時期なので、丈の長いコートを選ぶとよいでしょう。中の服は脱ぎ着しやすいものに。帽子、手袋、マフラーで防寒対策をすることも忘れずに。 |



北海道森林活用型ワーケーションについて
<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/sky/a0003/b0010/>



その他ワーケーション情報
北海道型ワーケーションポータルサイト
<https://hokkaido-work-vacation.com/>



※掲載内容は2022年3月現在のものです。

選ぶ理由が、山ほどある。

ワーケーションとは、「ワーク(仕事)とバケーション(休暇)の造語」。

ですが、北海道の森林を活用したワーケーションはそれだけではありません。

「ワーク+エデュケーション(教育)」つまり、森から学ぶべきこと、

地球のこれからを考えるヒントがたくさんつまっています。

「ワーク+コミュニケーション」、つまり、オフィスより会話が弾み、

アイデアも山のように出てくる、と感じられるはず。

ストレス緩和や免疫力向上など、健康増進効果も認められ、

全国各地で新しい時代の働き方として注目されている「ワーケーション」。

その北海道版は、日本の働き方・休み方を変える、山ほど大きな可能性を秘めています。

HOKKAIDO GREEN WORKATION



目次

- 1 はじめに
- 3 ワーケーションとは
- 5 北海道のワーケーション
- 7 医学的見地からみたワーケーション
- 9 グリーンワーケーション in 道央エリア
- 21 グリーンワーケーション in 道南エリア
- 27 グリーンワーケーション in 道北エリア
- 35 グリーンワーケーション in 道東エリア

ワーケーションとは

非日常の土地で仕事を行うことで、生産性や心の健康を高め、

より良いワーク&ライフスタイルを実施することができる1つの手段です。

もともとは、ワークとバケーションの造語ですが、日本の実情に合わせて、

必ずしもバケーションだけではない取り組みが各地域で行われています。

一般社団法人 日本ワーケーション協会では、広義化するワーケーションを7つのタイプに定義しており、

地域の実情に応じた2つ以上の組み合わせの事例も多く見られます。

北海道では、ワーク&ライフスタイルを調査・研究し、北海道の自然環境を生かした、

北海道でしかできない「グリーンワーケーション」を模索しています。



企業にとってのワーケーションの意義

社員に提唱する多様な生き方・働き方

Vacationの文化に乏しい日本において、「企業としてどんなメリットがあるのか?」、「社員の個人的な旅行のために企業が経費を負担するのか?旅先での労働を会社が命じるのか?」など、様々な疑問が生じていますが、ここでは、ワーケーションを「多様なワーク&ライフスタイル(=生き方・働き方)」の象徴として捉えたいと思います。その上で、その土地でしかできないことや、その土地に関わることで個人・地域・企業それぞれにとってのメリットを共に考え創造していきます。また、企業の制度導入においては、社員に対して、単なる労働の疲労回復のための有給消化ではなく、充実した余暇を過ごす、生活の質の向上につながる選択肢を増やし、イノベーションを生み出す力、ひいては、豊かな社会の実現につなげるのが重要です。

